

一 般 質 問 通 告 書

令和2年 8月24日

前

午 / 時 5分 受付

後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和2年 8月24日

湖西市議会議長 加藤弘己 様



湖西市議会議員 加藤治司



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	高齢者にやさしい、利用しやすい交通手段のある街へ
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	高齢者にやさしい、利用しやすい交通手段のある街へ
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市議会議員に当選し、一年と数か月が経過したが、主題の「高齢者にやさしい、利用しやすい交通手段のある街へ」は、私の選挙公約の中の1つであり、機会があれば、議会の場で要望するつもりであったが、最近の湖西市地域公共交通会議の動向に、「大きな変化点」があるので、質問する。</p> <p>先日開催された、湖西市地域公共交通会議では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「市民のニーズは、増加、多様化していく事が予想される中で、コーちゃんバスを中心とした公共交通施策は限界が来ており、コミュニティバス事業は、可能な限り運行経路を圧縮し、バス機能に特化しつつ、デマンド型の乗合タクシーの運行範囲を市全域に拡大する」 <p>という方向付けがなされ、</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 令和2年10月から、コーちゃんバスの路線再編と運賃改定 又、デマンド型乗合タクシーの乗車率向上に向けた運賃改定。 3. 企業シャトル BaaS 事業についての令和2年度事業計画。 <p>が決定されている。</p> <p>更に、地域住民の声として、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族送迎に頼れない、高齢者世帯・独り暮らし世帯が増えている。利用しやすい乗り物で、病院や商店に行き易くして欲しい。 2. 一般的な家庭は自家用車を持っており、コーちゃんバスは、利用者が限定されているので、空車が目立つ。 <p>等がある。</p>	

(質問の目的)

上記のような背景から、デマンドタクシーのような、高齢者にやさしい、利用しやすい交通手段が湖西市内全域で、何時頃までに利用可能になるのか確認する。

また、湖西市公共交通会議の抱える課題、見直しの方向性について内容を確認する。

(質問事項)

1. 公共交通が抱える課題として、今後も市民のニーズが増加、多様化していく事が予想される。とあるが、「ニーズの増加、多様化」とは、「市内循環バスがバス停で乗降させる方法では、主な利用者である高齢者のニーズを満足出来ない」という内容かを伺う。
2. 現在のコーちゃんバスを中心とした公共交通施策の展開には限界が来ており、抜本的な見直しをする必要がある。とあるが、「展開に限界が来ており」とは、「財政面で負担が大きい事」や「高齢者のニーズを満足出来ない」という内容かを伺う。
3. コミュニティバス事業は可能な限り複雑かつ長大な運行経路を圧縮し、バス機能に特化しつつ、デマンド型タクシーを市全域に拡大することを目指すとあるが、「バス機能に特化しつつ」とは、「定時、定路の乗合方式で低運賃を目指す」という内容かを伺う。
4. 「デマンド型乗合タクシーの運行範囲を市全体に拡大することを目指す」とあるが、何時頃までにどのように進めるのかを、モネ・テクノロジーズとの提携で進めている予約配車システムの導入等も含め、現時点の進捗状況を伺う。

以上

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和2年8月24日

前

午時8分受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和2年8月24日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



湖西市議会議員 高柳達弥



質問方式 (○を付ける)	一問一答	一括の質問答弁
番号	主 題	
1	湖西市農業の現状と振興策について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市農業の現状と振興策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>今農業人口の減少のなか、農家の高齢化、後継者の減少により耕作放棄地が増加している。農林業センサスによると、本市の農地面積は1,200haで遊休農地は70ha、農業就業者数が約1,000人内女性従事者は半数で、60歳以上の就業者が6割の状況です。県経済産業ビジョンによると湖西市の農業産出額の目標値は年間約90億円と見込まれています。</p> <p>本市の農業の現状と課題をどのように捉え、食を守る農業、多面的機能を有する農業をどのような施策をもつて振興し産業として安定した経営を確立した魅力ある農業を創造していくのか伺う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>農業を取り巻く情勢の厳しいなか、農業の将来像と農業振興策により本市農業を持続可能で魅力的で稼げる農業へ変革していく施策を伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 次期総合計画でのキャッチフレーズでは、「ひと・自然・^{わざ}業」がつながり未来へ続くまちKOSAIとして、豊かな自然とさまざまな産業に人が関り、次世代へつないでいくことで持続可能なまちを目指す方向性が示されましたが、本市農業の目指す姿をどのように描いているかまた、描いていくのか伺います。</p> <p>2. 本市農業の振興のためには、農業者はもちろん市民、商業・工業などの事業者、農業協同組合や教育機関、NPOなどの機関・団体などが連携して食の安定供給や農業の多面的機能発揮のために協働して取り組むことが重要と考えるが、現在の取り組み状況を伺います。</p>	

3. 農産物の地産地消と規制緩和で、今後企業等の農業参入が増えいくが6次産業化の対応と取組みを伺います。
4. 農業経営の基盤となる優良農用地の保全対策と農地流動化・集約化による遊休農地の利用促進を図るのための取組み、また、現状の耕作放棄地の解消対策と成果について伺います。
5. 農業後継者の減少のなか、本市農業の維持発展のため新規就農者また、女性就農者など担い手確保のための対策や育成指導について、どのような取組みをしているか伺います。
6. 土地改良区や耕作組合等の管理する農業用施設の維持管理費用負担の状況と、今後老朽化する施設維持のための費用負担軽減等対策について伺います。
7. スマート農業（ICT・ロボット等）は、農作業の省力化・労力軽減や農業技術の継承、農作物の収量を増やす働きがあると言われるがこれらの研究や取組みについて伺います。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和2年8月24日

前

午/時10分 受付

後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和2年8月24日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



湖西市議会議員 柴田 一雄



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	行政におけるデジタル化、ICTを活用したまちづくりについて
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	行政におけるデジタル化、ICTを活用したまちづくりについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>政府は2013年6月14日の「世界最先端IT国家創造宣言」において、ICT（インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー・情報通信技術）の活用は日本の成長戦略において必要不可欠な手段と位置づけ、2020年までに世界最高水準のIT利活用社会の実現を推進することを目的としました。その後、2015年6月の2回目の改定では、世界最高水準のIT利活用の成果の国際展開を新たな目標として掲げ、2016年1月にはサイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の新たな社会、世界に先駆けた「超スマート社会」の実現としてSociety 5.0（ソサエティ5.0）を未来社会のコンセプトとして閣議決定しました。</p> <p>静岡県では、2014年3月、「新ふじのくにICT戦略」を策定し、「ICTの利活用による安全・安心で快適な暮らしの実現」「ICTの利活用推進による地域の活性化、産業の活性化」「日本最高水準の電子行政の実現と市町との連携」「ICTの利活用推進を支える基盤の強化」の4つの柱を施策展開しています。</p> <p>湖西市では、影山市長も平成31年（2019年）3月定例会における施政方針においては働き方改革の一環として、RPA（ロボティック プロセス オートメーション・仮想的労働者）の導入実証実験やSNS（ソーシャル ネットワーキング サービス）の積極的な活用についても公表しております。</p> <p>本年1月には株式会社モネ・テクノロジーズと次世代モビリティサービスに関する連携協定を締結することで、「湖西市企業シャトルBaaS研究会」を設立し、本年、夏以降の実証実験の開始に言及しております。</p> <p>市議会と致しましても昨年度より、議員1人1台のタブレット端末を</p>	

自分達で導入し、資料のペーパーレス化、情報共有の時間短縮、事務局職員の負担の軽減、スケジュール管理の利便性の向上、オンライン会議の実施等に取り組んでおります。

ウィズコロナ、アフターコロナを考える今こそ、自治体のデジタル変革の時であります。

(質問の目的)

新型コロナウイルス感染症対策のために、総務省よりテレワークの積極的な活用、文部科学省より家庭での学習や校務継続のための ICT の活用が推奨される等、行政における ICT を活用したまちづくりが急務となりました。

当市においても、ICT を活用した業務の効率化等を含めたまちづくりを進めてもらいたいと考え、現在までの取組み、今後の方向性を伺います。

(質問事項)

1. 近隣市町の事例を申しますと、磐田市は昨年 10 月に「磐田市 AI・RPA 利活用基本方針」が策定され、基本的な考え方や今後の進め方等について、定められました。

また、袋井市におきましては ICT 政策課 ICT 推進室が設立され、ICT やデータを生かしたまちづくりに取り組んでおります。

民間企業におきましては人事給与関係業務にさまざまな形での「AI」(アーティフィシヤル・インテリジェンス・人工知能)の導入、また、多くの自治体において「RPA」の導入に至っております。

当市における ICT 推進に向けた計画、及び取組みについて現状の説明をお願い致します。

2. 政府は「世界最先端 IT 国家創造宣言」の中で、「国民全体の IT リテラシーの向上にも触れており、離島を含め全国津々浦々で、子供から学生、社会人、高齢者に至るまで、年代層別に、IT に関する知識を身に付けるための取組を推進する。」との内容が示されております。

そこで「IT弱者」を出さない、救済するという観点から高齢者やITインフラの整備が困難な方に向けて取り組んでいることはありますか。

3. 文部科学省より家庭での学習や校務継続のためのICTの活用も推奨され、今後、益々ギガスクール構想も加速されていくことが予想されます。

そこで、SNSでのトラブル、ネットでのいじめ等、子どもを取り巻く「IT環境」の有害情報対策も社会問題となっております。

教育の現場や行政としてこの問題に対して現在取り組んでいることを教えてください。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和2年 8月 24日

前

午時 11分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和2年 8月 24日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 瀧本 幸夫



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	空き家対策と活用について
2	湖西市企業シャトル BaaS 事業について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	空き家対策と活用について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>空き家対策とその活用については、1年前にも一般質問を行い市としての施策と方向性を伺いました。『職住近接』を推進する本市においては、近い将来誘致される予定の企業の従業員とその家族の住まいの選択肢の一つとしても、空き家の活用は有効であると考えます。そのため、空き家対策の進捗状況と今後の推進施策はどうか確認します。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>空き家を活用して定住を促進したい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 制度開始からまもなく1年となる、住もっか「こさい」定住促進奨励金の実績について伺う。とりわけ、中古住宅を購入した方への決定件数、そのうちの空き家バンク登録物件購入者の数は。 2. 空き家バンクの登録・問い合わせ状況について、この1年でどのくらい進んだか伺う。 3. 新型コロナウイルス感染症の拡大によりリモートワークの普及が進み、若い世代を中心に都市部から郊外への移住に関心が高まっているが、移住促進のために空き家活用者へリモートワーク環境の整備に対する補助などの取り組みをしてはどうか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	湖西市企業シャトル BaaS 事業について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>「令和2年度 society5.0 時代への対応～スマートシティの実現に向けて～」というセミナーを受講し、数ある項目の中から MaaS (Mobility as a Solution) 事業を選び出し、地域に根差したスマートモビリティサービスを推進していくことが経済の活性化にもつながり、市民生活がより良いものになっていくと考えます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>現在実施中のコーちゃんバス・デマンドタクシーに加え、近未来の様々なモビリティサービスを推進していくうえで、新たな移動手段を市としてどのようなお考えか確認する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MaaS(Mobility as a solution)事業の湖西版取り組みとして、湖西市企業シャトル B a a S 事業の今年度における進捗状況と主な取り組みについてお伺いします。 2. 商業施設とのサービス連携による経済効果を生み出す施策の検討について伺います。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和2年8月24日

前

午1時25分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和2年8月24日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 土屋 和幸



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市の重要課題の状況について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市の重要課題の状況について
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>浜松三ヶ日・豊橋道路〔仮称〕について、確実に進んでいることは承知していますが、予定されている地区の住民にとってはいろいろな考え、関心、期待もありますので、現状でいいので報告できる範囲での説明が必要だと考えます。</p> <p>コロナウイルス感染症の影に隠れて、最近は市民会館のことが市民に何も伝わらなくなっていますので、現状どうなっているかの報告が必要だと考えます。</p> <p>市長の任期満了が迫っております。次年度からは、新たな総合計画の推進や、引き続きコロナウイルス感染症対策など重要課題がたくさんある中で、市民は影山市長 2 期目出馬の意向の有無について注目しています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>一部の市民は分りますが、多くの市民にとって市がどのような方向に進んでいるのか分りにくいのでお聞きします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 浜松三ヶ日・豊橋道路〔仮称〕の事業の進捗状況はどうですか。 2. 市民会館についての現状の進捗状況はどうですか。 3. 影山市長の 11 月市長選への出馬表明はいかがですか。 	